

桑葉の旗のもと

青梅市立第三中学校
学校だより
平成30年運動会特集号

本校ホームページ www.ome-tky.ed.jp/jhs/n3-jhs

第72回 運動会 スローガン「One for all, all for one.」

「一人はみんなのために みんなは一人のために」

校長 川窪 公夫

全力の姿が「新しい伝統」を築き、声援と歓声、そして拍手がグラウンドに響いた熱い一日

【開会のことば】

今日は待ちに待った運動会です。今日までどのクラスもたくさん練習してきたはずです。練習の成果が発揮できるよう一生懸命頑張ってください。一人一人が全力で取り組み最高の運動会にしましょう。(実行委員長 3-4片岡 純)

入梅となり当日の実施が心配された第72回運動会でしたが、本当に暑く熱い一日になりました。保護者の皆さまをはじめ、ご来賓や地域の皆様方・卒業生など、昨年の記念運動会に並ぶ、歴代最多と思われる総勢1000名を超える方々にお越しいただき、惜しめない拍手と歓声を贈っていただきました。1年生から3年生までが一つのチームとなり、優勝を競う色別

縦割り形式の2年目を迎え、上級生と下級生がお互いに精一杯応援する雰囲気完全に出来上がりました。約550人の生徒が一同に集う開閉会式には、大規模校ならではのダイナミズムがあり、特に入場行進の見事さ・素晴らしさには賞賛の声が数多く寄せられました。中には目頭を熱くして“生徒たちの一生懸命の姿に感動しました。”と伝えてくださる方もいました。8時40分に始まった入場行進から15時40分に閉会式が終わるまで、どこを取っても全力だったと思います。大変暑く、疲れがたまっている状態で臨んだ閉会式でも最後まで集中力が途切れず、みんなよい顔を中央に向けていました。他のクラスの優勝が告げられると祝福の拍手を贈る姿があり、とても爽やかでした。開会式の挨拶で「三中生は、競技種目はもちろん、得点に関係のない入場行進やラジオ体操などにも全力で取り組める生徒たちです。準備や片付けなどの目立たないことにもひたむきに取り組める誇れる生徒たちです。」と話をしましたが、運動会終了後の片付けまで、責任感強く取り組んでおり、本当に誇れる三中生の姿がありました。熱中症が心配された一日でしたが、最後まで、全力で取り組むと決めた強い心が体力を支えているようでした。三中生は強い！と感じます。

今回の運動会が大成功したのも運動委員の生徒たちが本気で取り組んでくれたからです。特に、3年生が運動委員を中心に『新しい伝統を築く！』との決意に燃え、終始この運動会を成功させるために頑張ったからです。1年生の頃より、鍛えられてきた3年生が立派なリーダーと成長し、最上級として1・2年生に模範の取り組みをしたからこそ成し遂げられた運動会だったと思います。1・2年生も手を抜くことなく頑張っていた姿に、来年の運動会も更に素晴らしいものになるに違いないと確信します。

ご来校いただいた多くの皆様方が、口を揃えて「素晴らしい運動会で三中生の全力の姿に感動した」との言葉を贈っていただきました。朝早くから校庭の整備に取り組んだ委員。また、協力してくれた部活動の生徒たち。入場行進では、大きな団旗を力の限り持ち続けた旗手の姿にも感動しました。クラスをまとめるため、人知れず苦勞していた運動委員。そして、三中のため・クラスのために頑張った一人一人。多くの感動のドラマをありがとう！三中生は素晴らしい！です。



色別対抗 学級対抗	優勝 (色・クラス)	準優勝 (色・クラス)
色別対抗	赤組	白組
第1学年	1年1組(赤)	1年5組(黄)
第2学年	2年5組(黄)	2年3組(青)
第3学年	3年4組(緑)	3年2組(白)
新記録		
〔男子〕 3-2 田中 仁瓶 3年1500m 4分43秒6		
〔女子〕 2-5 樋口 夏妃 2年50mハードル 9秒2		

<選手宣誓>

宣誓！

私たち選手一同は、日頃の成果を十分に発揮し、どのクラスも優勝を目指し、あきらめず、正々堂々と戦うことを誓います。

平成30年6月9日

選手代表 3年4組 小峰 千奈里



<開会式での生徒会長あいさつ>

皆さん、おはようございます。梅雨に入り天気が心配されていましたが、この運動会を開催するできたことをとても嬉しく思います。実行委員を中心として様々な人が協力し、この運動会を迎えることができました。その一つ一つに感謝の気持ちを持ち、より良いものを作りあげていきましょう。運動会という大きな目標に向かい、たくさん練習を積み重ねてきたと思います。勝ち負けも大切ですが、何より一人一人がチームのため、そして、三中のために全力で取り組むことが大事だと私は思います。練習の成果を存分に発揮し、楽しくそして、緊張感のある運動会にしましょう。また、今年の運動会スローガンである「One for all, all for one.」を忘れずに、チームで団結して新しい伝統を築いていきましょう。最後に本日、三中に足を運んでくださったご来賓の皆様、これまで私達を支えてくださった保護者の皆様、そして、今日まで温かく見守ってくださった地域の皆様感謝の気持ちを込め、この運動会を全力で行うことを誓い生徒会長の挨拶とさせていただきます。(3-5 金田 果林)



<閉会式でのおわりの言葉>

皆さんお疲れ様でした。運動会は楽しめましたか。優勝したクラスの皆さんおめでとうございます。他のクラスのみんなも精一杯戦っていた姿が素晴らしかったと思います。勝ち負けに関係なく今日のこの日のために積み上げてきた練習の成果を発揮できたことが一番良かったのではないのでしょうか。最後に運動会で身に付けた力をもとに学校生活を充実したものにしていきましょう。(3-3 佐藤 夢斗)



印象に残ったことは、たくさんあり過ぎるけど、やはり優勝できたことがすごく嬉しかった。最後の運動会、悔いなく終わることができた。全員リレーで走順がうまくいなくて色々工夫した。でも、もう少し変えた方がいいとか言って1位を取るために一杯考えた。混合リレーとかもなかなか決まらなくて少し雰囲気が悪くなったときもあった。百足は学年練習をするたびに足が合わなかったり声が聞こえないとかみんな自分のことばかり考えていたと思う。正直、優勝は無理だと思っていた。でも、だんだん練習をしていくうちに、クラスのために頑張るという感じが出てきた。本番では、全員リレーは2位だったけどみんな全力で走っていて見て嬉しかった。大百足は結果は4位だったけど、全員が声を出してひっかかっても行けるよとか言っていて、今までで一番良かったと思った。前日の1回もひっかからないで何周もできたのも良かったけど、運動会でやった百足が一番良かったと思った。勝つことも大事だけど、みんながクラスのために頑張ったのが良かったと思う。だから、優勝できたと思った。(3-4 女子)



僕は運動会を通して、今のクラスがとても仲良くできたと感じました。運動会をやる前は、とても仲も悪くケンカや言い合いばかりしていました。大縄ではみんな揃って練習することが少なかったり、一人が責められたりしていて色々なことがありました。でも、やっぱり運動会は負けたくないという気持ちが強くて、予行では、全員リレー・代表リレーで1位を取りました。練習最後の日にはみんな集まって大縄をしました。そして、本番の日、大縄はあまり跳べなかったけれど全員リレーで1位になりました。代表リレーでも男女共に1位を取りました。そして、運動会の結果発表で5組が優勝することができました。ケンカとか色々なことがあったけど、みんなの気持ちが一つになった時間だったと僕は感じました。(2-5 渡部 悠我)



初めてクラス全員が協力してやる運動会を体験した。練習の時から先生やクラスは本気モードで学年練習では毎回1位になるほどだった。自分は今回、二つのことを学び成長できたと思う。一つ目は、クラスの団結力がなくて楽しくない。理由は運動会の前日の朝練でのこと。疲れた人ともっとやりたい人と意見が分れてしまった。最終的にぎくしゃくしたまま朝練が終わった。教室に戻ると泣いている子や怒っている子がたくさんいた。私はこのまま明日を迎えたくないと思っいろいろなことを考えた。朝学活の時、田部井先生が「ここまで頑張ってきたんだから」と言ってくれた。私は優勝したい気持ちはみんな同じということ思い出して、その後、クラスの子と仲良くできた。そして、当日に優勝。みんなの団結力があっのおかげで心の底から喜ぶことができた。二つ目は係の仕事についてだ。初めての仕事、しかもとても重大な役目だったので、予行の時から緊張していた。失敗することもあったし、分からないことも沢山あった。だけど、自分は仕事を一人で全部背負っているのではなく、係のメンバーと協力していることを思い出した。その後、運動会では、与えられた仕事を全てスムーズに行い、達成感のある活動ができた。



(1-1 梶田 愛菜)